

別紙

質 問	回 答
<p>(1) 委員長の選出について</p> <p>(事務局より説明)</p> <p>・委員長については、本年度8月、委員の互選により、菊池委員に決定しております。</p> <p>(1) 京滋地区4国立大学法人において発注した建設工事及び設計・コンサルティング業務に係る、審議案件の抽出と最終決定について</p> <p>(2) 審議案件に対する審議</p> <p>(3) その他</p>	<p>(委員一同承諾)</p> <p>(委員一同承諾)</p> <p>(P2以降に記載)</p> <p>なし</p>

別紙

質 問	回 答
<p>京都工芸繊維大学：((松ヶ崎) 総合研究棟(デザイン科学城)東1号館(Ⅱ期)等改修工事(理由書該当項目なし)</p> <p>(担当者より資料説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4社が入札を辞退されていますが、辞退された理由をどのように把握されていますか。</li> <li>・ 変更契約に至った主な理由を教えてください</li> <li>・ 入札辞退者へのヒアリング結果を通じて、今後どのような改善策をお考えですか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ヒアリング調査を行っております。2社については、他大学との競争結果を踏まえて辞退されたと聞いております。他の2社については、資料が残っておらず把握できていない状況です。</li> <li>・ 工事を進めるなかで、当初の設計で見込んでいたよりも外壁の不具合が多く、外壁からの漏水も見られたため、補修工法の変更などが必要となり変更契約を行いました。また、近隣住民の方への騒音対策や外壁の補修工法変更の検討に時間を要することから工期を延長する変更も行いました。</li> <li>・ 他機関との契約締結により、業者は辞退していきます。よって、前もって設計内容をつめておき、予算がつき次第、他機関よりも早く公告・入札を執行することが改善策と考えます。</li> </ul>

別紙

質 問	回 答
<p>京都工芸繊維大学:(松ヶ崎)ライフ ライン再生(井水供給設備)設計業務 (理由書該当項目⑤)</p> <p>(担当者より資料説明)</p> <p>・入札不調後に10社にお声掛けをされ、1社から見積書を徴収されておられます。入札時にこの設計業者が参加されなかった理由は何でしょうか。</p> <p>・不調後の見積もり合わせにはどれくらい時間をかけているのでしょうか。</p> <p>・他の設計業務と併せることで、業者が参加しやすくなるような設定をすることは可能でしたか。</p> <p>・競争性が働くような手続きや方策を今後も検討されるよう要望します。</p>	<p>・同時期に、他のより金額の大きい案件へ参加表明されていたと聞いております。本件は当該設計業者にとって金額的に優先度が低かったと考えられます。</p> <p>・時間はそれほどかけず、1日を目途に実施しています。</p> <p>・他に排水設備の設計業務がありましたが、こちらは土木関係の設計が主でしたので、別々にさせていただきました。</p>

別紙

質 問	回 答
<p data-bbox="240 465 785 555"><b>滋賀大学：(彦根) 講堂改修工事 (理由書該当項目①)</b></p> <p data-bbox="352 629 671 667">(担当者より資料説明)</p> <p data-bbox="240 741 785 943">・再入札を実施することはできなかったのでしょうか。また、参加資格について、地域要件を広げることができなかったのでしょうか。</p> <p data-bbox="240 1240 785 1442">・工期が1月から3月まで延びたとの説明があったため、再入札が実施できなかったのか質問いたしましたが、この観点からはいかがですか。</p>	<p data-bbox="809 741 1353 1160">・早期発注をするという目標があったため、再入札は行わず、残った1社と見積もり合わせをいたしました。地域要件については、前年度に比べて三重県や兵庫県、和歌山県等を加え拡大しておりました。今後もう少し広げることができるか、検討したいと思います。</p> <p data-bbox="809 1240 1353 1496">・工期の延長については、工事を進めるなかで土中から昔の基礎が出てきたことが原因です。入札時には想定できておらず、あくまで1月竣工を目標としておりました。</p>

別紙

質 問	回 答
<p><b>滋賀大学:(石山)講義棟改修設備設計業務(理由書該当項目①)</b></p> <p>(担当者より資料説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・結果として、参加有資格者が1社で入札参加社も1社でしたが、もともとこのような想定で入札を進められていたのですか。</li> <li>・本件は、簡易型プロポーザル方式の案件でしょうか。</li> <li>・業者の方にも提案書作成等の手間がかかる方式だと思います。公示期間を長くする等の改善策を今後もご検討いただきたいと思います。</li> <li>・参加資格について、工事と設計業務で地域要件が異なっているのはなぜですか。</li> <li>・周りの大学の発注状況から、契約が難しいとされる設計業者が、予定する時期に入札に参加可能かの予測が立つものなのでしょうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公告時には、もう少し多くの業者に参加していただけると想定しておりました。</li> <li>・はい。簡易型プロポーザル方式の案件です。</li> <li>・工事は設計業務に比べて遠方からも来ていただけると想定し、設計業務より地域要件を広くしています。今後は、設計業務についても地域要件の拡大を検討したいと思います。</li> <li>・周りの大学の発注状況を把握することに関しては、可能だと思います。</li> </ul>

別紙

質 問	回 答
<p>滋賀医科大学:(瀬田月輪)附属病院 等蓄電池更新工事(理由書該当項目 ①)</p> <p>(担当者より資料説明)</p> <p>・今後の改善策についてお聞かせください。</p> <p>・特定メーカーの蓄電池を指定されていますが、予定価格はどのように算出されましたか。また、蓄電池を大量に確保している業者を指名して入札することは検討されなかったのですか。</p> <p>・入札参加者数を2社以上で見込まれていましたが、2社の根拠は何ですか。</p>	<p>・公告期間を長くすることで、より多くの業者に参加していただきたいと考えています。</p> <p>・予定価格は、特定メーカーによる見積書を査定して算出いたしました。また、本学では基本的に指名競争入札は行っておりません。競争性の観点から、本件についても、一般競争入札で広く業者を募ることといたしました。</p> <p>・納入実績のある業者でかつ地域要件を満たす業者数を想定していました。</p>

別紙

質 問	回 答
<p>滋賀医科大学:(瀬田月輪)一般教養棟等改修他設備設計業務(理由書該当項目①)</p> <p>(担当者より資料説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公募期間を、他大学の公募と重ならないよう遅らせることは可能ですか。</li> <li>・早期発注の目標はおありかと思いますが、工期に余裕がある場合には、外部環境を眺めながら公募期間を遅らせることもご検討いただければと思います。</li> <li>・見積もり合わせの結果について、7回目で予定価格の範囲内に入ってきています。業者からの見積金額が高く設定されていたのはなぜだとお考えですか。</li> <li>・本件の業務内容については、公告時に公表されていたのでしょうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工期に余裕がある場合には可能だと思います。ただ、竣工はその分後になりますので、限界はあると思います。</li> <li>・予定価格については、国土交通省及び文部科学省の基準に準拠して算出していますので、問題はないと考えています。また、本件設計業務は、本学学生との意見交換の結果を考慮しなければならぬ内容となっていますので、そのあたりの手間を考慮して見積金額が高めに設定されたのではないかと考えております。</li> <li>・公告時に公表しています。</li> </ul>

別紙

質 問	回 答
<p>京都教育大学:(小山)附属京都小中学校中・高等部本館改修その他機械設備工事(理由書該当項目①)</p> <p>(担当者より資料説明)</p> <p>・資格要件の等級をBからAにまで拡大されていますが、より多くの業者を募るため下位のCへ拡大することは検討されなかったのですか。</p>	<p>・本学の規程では、2つ上位1つ下位までの拡大が認められておりますが、実際の入札手続きにおいては施工実績等の観点から下位への拡大は行っておりません。</p>



別紙

質 問	回 答
<p>京都教育大学:(小山)附属京都小中学校中・高等部本館増築その他工事 (理由書該当項目①)</p> <p>(担当者より資料説明)</p> <p>・見積り合わせの結果について、入札金額と見積金額にかなりの乖離が見られます。また、見積金額は予定価格を1万円だけ下回った金額となっています。このあたりの状況分析はどうされていますか。</p>	<p>・本件は、本学から見れば入札参加者が1社しかなく競争原理が働かないと判断したため、入札回数を2回までとし、不落随契協議に移行しました。協議においては、附属学校の工事であり設計以上の仮設費が見込まれていることや、資材の単価にコロナウイルス蔓延による物価上昇が見込まれていることが推測されたので、その点から協議を進めました。また、見積金額と予定価格の差額が1万円ということについては、まったくの偶然としか言いようがありません。</p>

別紙

質 問	回 答
<p>京都教育大学:(小山)附属京都小中学校校舎改修(設備)設計業務(理由書該当項目⑤)</p> <p>(担当者より資料説明)</p> <p>・公募が2度不調となった後、多くの設計業者にお声掛けをされていますが、10社以上から業務多忙を理由にお断りの連絡が入っています。設計業務の内容が厳しすぎたということはありませんか。</p>	<p>・本件の背景として、国土強靱化の3カ年計画により、一斉に国立大学等のライフライン整備が予算化されたこともあり、発注時期が集中したものと推察されます。また、4月に設計事務所へ受注の打診をしましたが、技術者不足や業務多忙により断られました。夏になれば手が空くと回答いただけました業者もありましたので、その後、複数の業者へもお声掛けした状況です。今後は社会情勢等も勘案しながら、手続きを進められるよう努めます。</p>